

登録コード	J5060200	開講年度	2026			
授業科目	実証産業組織論				担当教員	廣瀬 要輔
英文授業名	Empirical Industrial Organization				副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・1時限	対象学年
講義室	経法第3講義室	授業区分		講義	遠隔授業科目	(20カリ対象科目) 経：2年/法：3年
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】	
	経法20加・応用経済					
	環境問題，少子高齢化，自然・経済リスクの管理，コーポレート・ガバナンス等の法制度がかかわる問題などについて，現実 に解決を探る際には，法学，さらには，理学・工学・医学等の 関連領域との協力が必要となる。このために，関連する分野の 考え方を正しく理解して経済学的分析手法との相違を把握し， 経済学の知見を，柔軟にまた建設的に応用できる能力を身につ ける。				関連する分野の考え方を正しく理解して経済学的分析手法との 相違を把握し，経済学の知見を，柔軟にまた建設的に応用でき る能力として，経営学や法学とも関連の深い企業・産業をミク ロ経済学の視点から論理的に洞察できるようになる。さらに統 計分析を用いて実証的に分析できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア					
(3)全学横断特別教育プログラム	ストラテジー・デザイン人材養成コース、ライフクリエイター養成コース					
(4)授業の概要	この授業では産業組織論の実証分析に用いられている計量手法を統計解析向けプログラミング言語Rの使用法とともに解説します。					
(5)授業計画	学生の理解度に応じて授業計画を変更するつもりなので、以下は目安です。 第1回 ガイダンス・RStudioの設定 第2回 R・RStudio入門 第3回 回帰分析の復習 (1) 第4回 回帰分析の復習 (2) 第5回 回帰分析の復習 (3) 第6回 生産関数の推定 (1) 第7回 生産関数の推定 (2) 第8回 生産関数の推定 (3) 第9回 需要関数の推定 (1) 第10回 需要関数の推定 (2) 第11回 需要関数の推定 (3) (レポート課題の出題) 第12回 競売と入札 (1) 第13回 競売と入札 (2) (レポート課題の提出) 第14回 競売と入札 (3) 第15回 競売と入札 (4) (最後の15分で授業アンケートを実施します) 第16回目にあたる週で期末試験を実施します。					
(6)成績評価の方法	レポート (30%) および期末試験 (70%) により評価します。					
(7)成績評価の基準	授業内で提示される練習問題がある程度解けるようであれば「水準にある」、練習問題を完璧に解けるようであれば「やや上にある」と評価します。さらに、応用問題が解ければ「かなり上にある」と評価し、Rを用いて適切な分析ができるようであれば「卓越している」と評価します。					
(8)事前事後学習の内容	この授業では実証産業組織論に関わる手法と合わせて、統計解析用ソフトRの使い方も同時に学んでいきます。Rを使いこなすにはある程度慣れが必要なので、各自で積極的に復習することが求められます。					
(9)履修上の注意	この授業ではRとよばれる統計解析用のプログラミング言語を使用します。このため、インターネットに接続できるノートパソコンを各自で (初回授業から) 持参してください。					
(10)質問,相談への対応	授業内での質問を原則とします。授業内での質問ができない場合はeALPS上またはメールで質問してください。メールアドレスとオフィスアワーに関しては初回授業でお知らせします。					
【教科書】	特にありません。					
【参考書】	授業内で適宜指示します。					